

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		one step smile東三国教室				公表日	令和 7 年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		公園での活動を拡大し、学びの場を広げています。座って遊ぶ場所と身体を使って活動できるエリアを分けて室内スペースの最適化を図っています。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	法令に定められた人員基準を遵守しております。公園での活動が多いため、十分な人員配置をしております。効果的な療育の為、今後も人員配置への配慮を続けます。	必要に応じて職員の配置を考慮しなければならない場面がある。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		階段のある場所では職員が付き添い、安全に配慮しております。フロア内の段差も可能な限り解消し、怪我のリスクを減らすように努めています。子どもが使用できない部屋は鍵をかけている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		清掃のマニュアルを作成し、生活空間は常に清潔に保ち、子どもたちが安心して快適に過ごせる環境づくりに努めています。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		子どもたちが安心して個別のスペースを使用できる環境を整えております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	月に1回の教室会議・各教室合同会議において情報交換を行い、前月の振り返り及び今月以降の目標を設定している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	保護者からのアンケートを実施し、その意見を元に改善を進めております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	月に1回の教室会議、日々の朝礼時に情報及び意見交換を行い、業務改善に努めている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		現段階では導入しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	毎月職員研修を実施している。	参加できなかつた職員へは議事録等で周知している。今度はwebの研修を取り入れる予定です。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	支援プログラムに関しては教室のホームページに公表済みです。	職員への周知を徹底します。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		子ども一人ひとりに対し適切なアセスメントを行い、保護者の意向や課題を客観的に分析したうえで、最適な支援計画を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	支援計画書作成前に会議を実施し支援に関わる職員全員が共通理解を持ち、子どもの最善の利益を考慮した検討を行っております。職員間の連携を大切にし、情報共有に努めています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2	職員間で共有し、子ども一人ひとりの計画に沿った支援を徹底しております。職員間の連携を強化し、計画に基づいた質の高い支援を提供できるよう努めています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	多角的な視点から子どもの状況を確認し、より適切な支援につなげています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		ガイドラインに基づき、本人支援を中心に必要に応じて家族支援や地域支援・地域連携も適切に組み込んでいます。子どもの支援に必要な項目を的確に設定し、それに基づいた具体的な支援内容を計画的に実施しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	日々のミーティングにて職員間で話し合いながら進めており、子どもたちの興味や発達段階に応じた内容となるよう工夫しております。		

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	毎月のイベントやプログラムへの参加を促すため、職員が意見交換を行なながら創意工夫を凝らしています。イベントも偏らないよう努め、新しいものを取り入れてあります。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	2	個々のニーズに寄り添いながら、バランスの取れた活動を提供できるように努めています。集団活動をメインとし、必要な場合には個別に対応するよう計画を作成している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	朝のミーティングで、その日の児童に適したプログラムを計画し、職員間での役割分担も柔軟に調整しております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	翌日には支援結果を振り返り、今後の支援方針について話し合う時間を確保しております。また、支援記録を記入する際に当日気になった点などを話し合っております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2	日々の支援について記録を徹底し、それを活用しながらより質の高い支援を提供できるように努めています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	6ヶ月ごとに、保護者の意見を積極的に収集し、そのフィードバックを元に支援内容を適宜更新しております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8	1	子どもの成長やニーズに応じたバランスの取れた活動を提供し、支援の充実を図っています。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		自由活動の時間には、自分のやりたいことをスタッフに伝え活動できるよう声掛けなどを心がけている。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		サービス担当者会議などの前にはスタッフ間で子どもの情報を交換し、理解したうえで参画している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		協力医療機関とは連携を確立しており、相談支援事業所や学校、保育園など必要に応じて情報の共有をしております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		保護者から情報に加え学校への確認や送迎時に情報共有を行っております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	9	就学前に学校へ提出する書類に記入するとともに、入学後に担任と連絡を取り情報を共有するように努めています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		9		現在該当する児童がいません。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		9		現在は行っていないが、必要に応じ機会を設けたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		1	長期休みなどには児童館を利用することがあり、その際地域の子どもと活動をともにすることがある。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	責任者が市役所で行われる協議会へ参加している。	職員への周知を徹底します。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	連絡帳や送迎時の対話、面談を活用し、保護者と連携しながら最適な支援を提供します。	職員への周知を徹底します。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	保護者会開催時に保護者間の情報交換の場を設定し、スタッフが間に入り助言などを行っている。	現在家族向けの研修の機会を設けておりませんが、今後検討したいと思っております。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	5	契約時に説明をしております。	職員への周知を徹底します。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	2	定期面談時、細かい説明を行い同意を得たうえで支援を行っております。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		半年に一度の定期面談時、計画書を提示しながら細かい説明を行い同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		必要に応じ、保護者と電話や対面での相談などの対応をしております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		9		現在は行っていないが、今後は機会を設けたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		その職員が受けても必ず管理者に報告することで、迅速かつ適切に対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	LINEやインスタグラムによりイベント情報や活動内容を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人名の入った書類等の扱いには最新の注意を払っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		言葉での意思疎通が難しい子どもには、絵カード使用などの配慮・工夫をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	9		現在行っていない。 今後、スタッフ間で協議して取り入れていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		契約時にお伝えをしている。 訓練は適時行われている。	保護者への周知が足りない部分がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		マニュアルの整備は職員間の周知はできている。	今後、マニュアルの内容について保護者様への説明をする機会を設けたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		薬を服用している子どもやてんかん発作のある子どもの状況をスタッフ全員で把握し、対応の仕方を共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		アレルギーのある方については、リストを作成し常に注意している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		災害が起きた際の動き方をスタッフ間で共有している。 定期的に施設内、公園、車内の安全点検を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		契約時に説明して、必要に応じて周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット事例集を作成し、定期的に職員全員で共有できている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	虐待防止委員会を設置し、定期的に法人内で情報共有を行っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		身体拘束に関する説明（緊急時やむを得ない場合）を行い、保護者様の意向・同意を頂いている。	